

5月11日～5月20日

春の全国交通安全運動を実施

5月11日(土)～5月20日(月)までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。5月20日(月)は、交通事故死ゼロを目指す日です。交通事故死をなくすため、一人ひとりが交通ルール・マナーを再確認しましょう。

死亡事故が増加中です！

県内で交通死亡事故が多発しています。今年に入り、3月10日現在で22人が亡くなっており、前年同期の約1.5倍に増えていきます。事故の多くは夜間で、横断歩道がない場所を横断していた歩行者が車にはねられる事故などが発生しています。夕暮れから夜間に外出するとき、は明るい服装で反射材を着用しま

しょう。車を運転するときは早めのライト点灯、ハイビームを活用して事故防止に努めましょう。昨年は町内でも歩行者が道路を横断中にはねられる事故が目立ち、死亡事故も発生しました。横断歩道以外の道路を横断しない、横断歩道を横断するときは確実に安全確認をするなどを徹底しましょう。

自転車のスマホ・イヤホンのながら運転は危険です

スマホの操作やイヤホンをしながらの運転での事故が、特に問題視されています。自転車を運転中に事故を起こし、相手を死亡させたり、後遺症を負わせたりしてしまいうケースが全国的に多く発生し、場合によっては、1億円を超える

高額の賠償が発生する事例も出ています。スマホを操作しながら自転車を運転し、歩行者と衝突して死亡させた事故では、加害者が重過失致死罪で有罪判決を受けています。函南町内でも、スマホを操作したり、イヤホンをしながら自転車を運転する人を見かけることがあります。周囲の様子がわからなくなり、大変危険ですので絶対にやめましょう。加害者になることのないよう、安全運転をお願いします。



県交通指導員会連合会が設立50周年を迎えます

現在、県内の33市町に指導員会があり、交通事故防止のために活動をしています。県交通指導員会連合会が設立された翌年の昭和45年は、1年間に交通事故で16,765人が亡くなり、歴代最悪の記録となった年です。函南町交通指導員会が発足し

た昭和54年はピーク時の約半分の、8,466人が亡くなっています。函南町交通指導員会は、昭和54年の発足以降、通学児童の交通指導や交通安全運動期間中の啓発活動を通じ交通事故防止のために活動を続けています。また、町のイベントなどに協力し、交通整理を行っています。長年に渡り、交通事故防止のために活動してきた交通指導員会ですが、高齢化や人手不足・後継者不足が県内全体で進んでいます。交通指導員の活動内容が知りたい、活動に興味がある人は、事務局(函南町役場総務課内)979-8102までお問い合わせください。



▲大場駅前での交通指導員の活動の様子

団体・活動紹介

函南町文化協会

函南町文化協会

「第1回 函南日舞さくららの会」

このたび、おかげをもちまして「函南日舞 さくららの会」を開催させていただく運びとなりました。

日本の伝統芸能が時代とともに衰退しています。そこで、同じ伝統芸能を志す者が集まり、日本の素晴らしい伝統を伝承するために結成しました。そして、より多くの皆様に伝統芸能の魅力を知ってもらう必要があると思い、発表する場をいただきました。

今回は溪聲会・松の会にも出演の協力をしていただき、出演者一同、愛される会を目指し、努力してまいります。皆さまの応援を心からお待ちしております。



日時 / 5月26日(日)

13時開演

場所 / 函南町文化センター

大ホール

その他 / 入場無料

問合先 / 実行委員長 藤間 伊世龍 (978-2338)

文芸散歩

春、躍動の瞬間(とき)

廣中教純

二月に柿沢川の土手を彩った河津桜も主役の座を菜の花に譲り、今は若葉の準備に忙しい。日ごとに暖かくなり、目にする草花たちの輝きが春の訪れを告げる。この季節、新鮮な感動が沸いてくる。春、それはいのちの躍動の瞬間なのだ。

私たちは大きな時の流れのなかで、瞬間を生きている。あるときは楽しく、また悲しいこともたくさんあるが、それはみな一瞬のこと。そんななかで、何か心の中で生まれ、小さな喜びに育っていく。そんな春が私は好きだ。四月は入学、就職の季節。希望に胸を膨らませた若者たちの新しい生活が始まるのだ。彼らの未来にきれいな花を咲かせるのは、今の瞬間を精一杯生きることなのだ。精一杯生きている若者たちは輝いている。それは春を彩る花たちのようだ。

時の流れを止めることはできない。今の瞬間を精一杯生き、毎年やってくる春、花たちとの出会いを喜び、いのちの尊さを感じられたらうれしい。

〈函南文芸の会〉